

フォーゲル
レジャーバイク **VOGEL** QB50 新発売!

《特集》魅力の新商品勢ぞろい

話題性豊かに市場拡大!



《特集》魅力の新商品勢ぞろい
 話題性豊かに市場拡大! 3

- 「RZ250&XJ400」
 ビッグバイクテストランニング..... 6
- 「XT250」
 われらXT夫婦 8
- 「タウンイ」
 男の職場で大活躍のイエロー・タウンイ..... 10
- 「ポエット」
 ポエットは、わが街熱海バイク、..... 12
- 一大ヤマハフェアで秋商戦をリード..... 14

●カラー

新製品ご案内 「フォーゲルQB50」..... 15

'80SUGOの夏
 いちだんとビッグにサマーバケーション..... 16

話のパドック..... 18

スポーツバイク拡販めざして
 <YRS>でセンスアップ..... 20

お店訪問・こんにちはヤマハです

- 福岡市「雑餉ホンダ」さん 22
- 販売促進12章..... 24
- モータースポーツハイライト..... 26
- ヤマハ★トピックス..... 28
- パワーアップヤマハ奥さま⑨..... 30
- ヤマハ部品・用品コーナー..... 31

VOGEL

フォーゲル

前号でご紹介した「ポッケ」とともに8月10日から新しいレジャーバイク「フォーゲル」が新発売されています。

この「フォーゲル」(VOGEL)とはドイツ語の鳥を語源とした言葉。鳥の持つ、自由で、行動的で、活動的で、冒険好き……そんなワイルドなイメージを表わし、草原や山道を思いのままに走りまわるジープ感覚でお乗りいただきたいと名づけたものです。どうぞよろしく。

2 50ccクォーターバイクシリーズ、XSスペシャルシリーズそして「XJ650スペシャル&XJ400」の4サイクルスーパースポーツ……めざましいラインナップを完成して'80年スポーツバイク市場をリードするヤマハスポーツ。

これに合わせて、新たにビッグバイクのお客さま向けに季刊紙「WAY」が創刊されています。幅広いスポーツこころでとらえたモーターサイクルとモーターサイクルライフ……この新鮮な情報が、お店とお客さまの新しい話題を生み出していくことでしょう。どうぞご活用ください。



〈表紙〉 男の遊びこころに、またひとつすばらしいプレゼント。「ポッケ&フォーゲル」はバイクの楽しさを知りぬいた、アダルトの目を再びバイクに魅きつけます。

《特集》魅力の新商品勢ぞろい 話題性豊かに市場拡大!

●タウニイ ●ポエット ●ポッケ ●フォーゲル ●RX50ス
ペシャル ●XS250スペシャル ●GX250SP ●XT250
●SR250 ●RZ250 ●XJ400 ●XJ650スペシャル

—この6ヵ月間にデビューしたヤマハのニューモデルは
じつに全12機種。

ソフトバイクあり、新しいレジャーバイクあり、ビッグ

バイクあり……と全ジャンルにわたるかつてない強力なニ
ューモデル群は、もりだくさんの話題を生み出しながら、
めざましい勢いで市場の拡大をつづけています。

折りしも9月からは1年の成否を決定づける秋商戦のス
タート。そこで今月の特集は、この大切な時期に改めて、
勢ぞろいした'80年代の主力商品・新商品群の全構成とそれ
ぞれの話題にスポットを当ててみました——



POCKE ポッケ

▼「フォージェル」とペア開発のベツトバイク「ポッケ」。

▼6インチホイールのミニマムサイクズとはいえ、GT50ベースの2サイクル・トルクインダクションエンジン、ハンドクラッチ4段変速という本格派のパワーユニットを搭載。

▼安定性にすぐれた三角形をベースとした車体構成とフアッションナブルなタウン感覚あふれるスタイリング。

▼モーターサイクル卒業派のヤングアダルトを中心に人気も上々。「タウンイ」とはまた異なった男性需要の開拓が期待される。

Poet ポエト

▼オートマチック3段変速（LE50A）と自動遠心クラッチ3段変速（LE50C）の2タイプ。

▼3・6馬力の最高出力、19度の登坂能力、67・5kgの軽量ボディ、20kgまで積載できる大型キャリア……はいずれもこのクラス最高。

▼ファミリーバイクのフアッション性にビジネスバイクの実用性をプラスしたオールマイティバイク。

▼省エネ基調、6輪使い分け時代を反映し、新規需要に加え特にソフトバイクからの上級移行、アンダーボーン車からの代替需要が急増中！

TOWNY タウンイ

▼3月の新発売から6月までの4か月間平均6千台というハイペースでお客様を増やしつづけている。

▼ユーザの92%は男性、そのうち20才代と30才代前半が55%と、まさにお客様を中心は男性アダルト。

▼お客様ごとの選択理由のベスト3は①男性用②大柄な車体③ソフトな乗り心地とゆとりある性能。

▼3月に大阪で開かれた「モーターフエスティバル」イン OSAKA ではないみいるビッグバイクを尻目に堂々ベストカーコンクール第1位に選ばれ話題を呼んだ。



生活圏の最も手軽な足としてますます拡大するソフトバイク、アウトドア・スポーツのひとつとして幅広い人びとの関心を集めるレジャーバイクやクォーターバイク、さらにモーターサイクルの本質“走り”を追求したスーパースポーツ……これこそお客様の多様化するニーズに応え、'80年代の新しいニーズをつくり出す魅力の新商品群です。

SR250

▼「XT250」と同一の扱いやすいパワーユニットをスペシャル・スタイリングでまとめたヒューマンバイク。

▼740mmという50ccなみの超低シート高、キックを廃しセル専用とした始動などに代表されるその手軽さが、ヒューマンバイクのゆえんであり、アダルトを中心に一大需要を創り出している要因でもある。

▼アダルトとともに女性ユーザの増加にも一役。また6月の国内販売軽2輪車部門での「ヤマハ首位」にも大きく貢献した話題の新商品。

XT250

▼林道ツーリングに代表されるトレールブームが再燃している中で、ヘッレルのヤマハから新登場した4サイクルスーパートレールとして、圧倒的な人気を博している。

▼コンパクトなボディ、114kgの超軽量、低振動でフレキシブルなエンジン性能とヤマハモノクロス・サスペンション……オフロードはもちろんオンロードも快適にこなすそのトータルバランスは話題のマト。

▼XT250にライバルはいるか？ “バランスの良さが林道でサエ”と専門誌のタイトルもホット！

GX250SP

▼スーパースポーツ、スペシャル、スーパートレール、ヒューマンバイク……個性派ぞろいの250ccクォーターバイクシリーズの中で、オーソドックスなコンチネンタルスタイルが根づよい人気を集めている。

▼その乗りやすさと扱いやすい性能は、スポーツユースばかりでなく、タウンユースにも好評。「GX250SP」の幅広い人気のもととなっている。

▼17ℓ容量の大型タンクも、人気のマト。



《特集》魅力の新商品勢ぞろい
話題性豊かに市場拡大!

XS250 Special

▼この4月には発売2カ月目にして全国車種別販売台数のトップにおどり出て話題をさらったクォーター・スペシャル。

▼XS650スペシャルゆずりのアメリカンホースバックライディングスタイルと重厚なスペシャルワイーリングが、ヤングからアダルトまで幅広い人気を集めている。

▼XSスペシャルシリーズは、250、400、650、750のフルラインナップも完成。同スタイルینگでは「SR250」、「RX50スペシャル」も登場。



RX50 Special

▼50ccスポーツユーザーの熱い期待にこたえて8月から新登場した50ccスペシャル。

▼50ccとはいえ、性能でも、スタイルینگでも、仕上りでも、「高品質、高性能、個性的」というヤマハのスペシャルマシンづくりのポリシーが活かされている。

▼GT50をベースに新型ヘッドをつけたエンジンはいい。7PS/0・57kg/mのスペックから想像する以上に乗ってみるとパワフルだ、アクセルの開きかげんに敏感に反応するレスポンスの良さも小気味いい。(週刊プレイボーイ 8月26日号)



VOGEL フォーゲル

▼タウン感覚の「ポッケ」に対してジープ感覚、野性味あふれる「フォールゲル」。

▼8インチの前後輪タイヤと大型シートでゆとりのある乗車姿勢。

▼ミニマムサイズに秘めたハイパフォーマンスとハイメカニズムは「ポッケ」と共通。

▼「ポッケ」同様の折りたたみ式ハンドル、開閉レバー付キャブレターなど車積機能も充実。

▼新しいアウトドアレジャーとして人気を高めるパニングに欠かせぬプレイツール「ポッケ&フォーゲル」



まずは'80年ヤマハ・ニューモデル攻勢の口火を切った男のソフトバイク「タウンイ」から、話題のスーパースポーツ「RZ250」そしてヤマハならではの完成度を誇る本格派スペシャル「XJ650スペシャル」まで、新商品全12機種の位置づけと、それぞれの話題をとりまぜて整理してみました。

XJ650 Special

▼4サイクル・DOHC・4気筒+シャフトドライブのパワーユニットを一段と磨き上げたスペシャルスタイルینگでまとめた「XJ650スペシャル」。

▼その高度な完成度は、スペシャルの先駆者ヤマハならではの高い評価を集めている。

▼人間が自由にコントロールできる最高のパフォーマンスをめざしたビッグマシンとしてハイウェイからワインディングロードまでスムーズでパワフルな走りも、定評となりつつある。

XS650スペシャルと好対照。



XJ400

▼「RZ250」と共に、中型2輪市場のステータスシンボルとして登場した4サイクル・スーパースポーツ。

▼DOHC・4気筒のハイメカニズム、45馬力/10000回転のハイパフォーマンス、国内市場専用設計の軽量・スリム・コンパクトな車体構成……に人気が集積中。

▼高速道路、ワインディングロード、市街地、サーキット、悪路の異なる走路で(XJ400)がまんべんなく高い評価を集めているのは、その総合性能の高さを物語るもの(モーターサイクリスト誌・9月号)



RZ250

▼「ヤマハ250cc新時代」のスーパースターとして8月5日待望の国内発売となった2サイクル・スーパースポーツ。

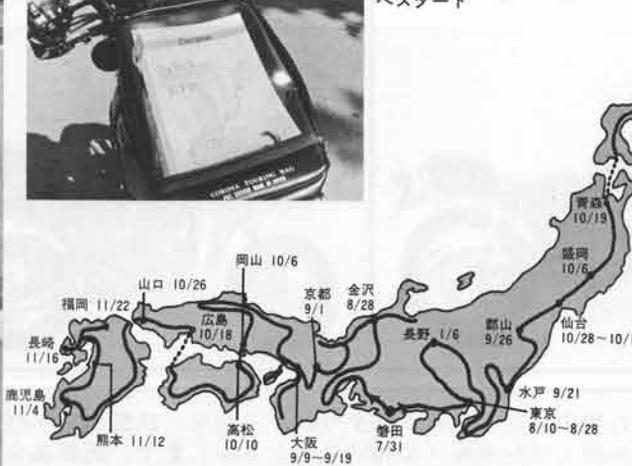
▼その衝撃の走りは、いま書店の店頭にも並ぶ週刊誌、2輪専門誌の話題を独占している。その一端は——

▼これは(超大型バイクのように)絶対的ハイパワーを誇ったり、最高級の仕上げを誇るマシンではない。しかし最高に「走る喜び」をつめ込んであるバイクなのだということは断言できる。久しぶりに「降りたくない」バイクに乗った(週刊プレイボーイ・8月26日号)





↑7月31日、関係スタッフの拍手の中で最初のリレー地(販売会社)へスタート



2サイクル・水冷・ツイン『RZ250』と4サイクル・DOHC・4気筒『XJ400』……いまスポーツユーザーの話題を独占するヤマハの最新鋭スポーツーツ2機種が、ベアを組んで日本列島を巡回。お客さまの立場に立った品質の確認、耐久性の把握をつづけています。

市場品質の確認へ 話題のスポーツーツベア ただ今、日本列島巡回中！

ビッグバイク
テストランニング

『XJ400』の登場から2カ月、待望の『RZ250』の国内発売から1カ月、『RZショック』が一段と大きな高まりをみせる中でスタートしたこの市場テストは『ビッグバイク・テストランニング』と名づけられ、日本全国のヤマハ販売会社サービススタッフ(営業技術課員)の手によってリレーテストされているものです。

モーターサイクルの原点である「走り」に徹した新時代のスポーツーツとして、発売以来お客さまの圧倒的な支持を集める『RZ250』と『XJ400』こうした高性能スポーツバイクの走行フィーリングを体感として把かみ、正当な商品評価を養うことは直接売りの現場にたずさわる販売店のみなさまはもとより、直接、間接にお客さまと接しサービスに当るスタッフにとっても不可欠の条件です。

そして、ここから開発段階のテストランニングとは異なった、実際の市場における品質にお客さまの使用状況下での耐久性も把握されるわけで、この『ビッグバイク・テストランニング』の目的もまさにこの点にあるわけです。

『RZ250』と『XJ400』のベアが2組、東日本コースと西日本コースに分かれて1コース約3万余キロの走行が予定されています。

そして、4台のテスト車はそれぞれにピストン、ピストンリング、コンロッド、クランクシャフト、シリンダー、シリンダヘッドといったエンジン部品の厳密な寸法測定をすませテスト終了後の経時変化チェックに備えています。また、テスト中の調整・整備も極力お客さまが行なう場合と同様の状態で行ない、万一の故障には内容によって直接開発に当たった技術部が調査に当るなど万全のテスト態勢が敷かれています。

この『RZ250』や『XJ400』に限らず、新発売以来もどくさんの話題とともに快調なテンポで市場拡大をつづけるニュー・ヤマハスポーツ。その陰でヤマハの技術開発スタッフ、サービススタッフ、セールススタッフ一丸となったのこうした地道な活動も展開されているのです。

なお、この『ビッグバイク・テストランニング』の経路と日程概略は地図のとおりです。みなさまの地域への訪問時のご協力よろしくおねがいいたします。

《特集》魅力の新商品勢ぞろい
話題性豊かに市場拡大!



市街地から一般道路、ワインディングロード、ハイウェイまで、あらゆる走行パターンの中でテストされる「RZ250」と「XJ400」



販売会社・営業所から次の販売会社・営業所へ、サービスマンからサービスマンへ2台のスーパースポーツは乗りつがれていく。左はヤマハ静岡モーターズ(株)・浜松営業所、右はヤマハ名古屋(株)で

われらXT夫婦！ 休日は2台そろって林道ツーリング

3月から次つぎとデビューしたヤマハクォーターバイクシリーズは、6月には前年同月比27.4%という驚異的な伸長を示し、軽2輪クラストップの販売実績を収めるほどぐましい市場拡大を続けています。もちろん、これは「XS250スペシャル」「GX250SP」「XT250」「SR250」……の新商品群

が、アダルトユーザーをはじめとするスポーツバイク本来の楽しみを求める人びとの共感を集めたもの。「ヤマハスポーツ250cc新時代」はいまさらに大きな盛りあがりを見せていますが、ここに紹介する「XT夫婦」富岡孝司・多江さんのお2人は、まさにそんな姿の象徴ともいえるお客さまです。

神奈川県平塚市にお住まいの富岡孝司・多江さんご夫妻（ともに23才）。

「XT250」を駆ってヘルメットからはみ出した長い髪をなびかせ、さっそうと走る奥さま。これを見守るように追走する「XT500」のご主人——お2人はいま丹沢周辺の林道でオフロードマニアのせん望を一身に集めている「XT夫婦」なのです。

「以前は主人のXT500に乗ってタンデムで走っていましたが、オフロードの楽しさをどうしても自分で体験してみたかったので」というのが多江さんが半年間乗り慣れたチャビイから「XT250」にステップアップした動機です。

「ちょうどこんなことを考えている時に、「XT250」が発売されたんです。155センチと小柄な私でも、これなら十分に取ります。そしてシートが低いから足も無理なく接地できる、そんな所からXT500に乗っている主人の勧めもあって、即決してしまいました。4月に購入してから現在までの走行距離は3500キロ、乗り始めたころは朝早くコッソリと起き出して練習したほどなんですよ」

一方、ご主人も16才でMR50に乗り始めてからXS650E、XS650スペシャル、SR500そして現在のXT500と乗り継いでいる大のヤマハファンですが——

「乗る人の夢、というか楽しさの広がりがあるからヤマハが好きなんです。現に「XT250」を女房に勧めたのも、軽くて、コン



《特集》魅力の新商品勢ぞろい
話題性豊かに市場拡大!



林道ツーリングの思い出をつづったアルバム
も今年に入って急ピッチで増えつつけている



ホームコースの丹沢山境ヤビツ峠で「ここで野性の鹿を見かけた時の感動はいつまでも忘れられません」

パクトで、シートが低くて、デ・コンプ連動キックで……と性能とともに乗りやすさのすべてを満たしているからです。

いつも思うのは林道ツーリングを楽しむバイクはモトクロッサーではない、何よりも一番大切なのは乗りやすさなんだと」

「XT夫婦」富岡さんご夫妻の共通の趣味は林道ツーリング。

「私たち2人が一緒に走るのはほとんどが林道ツーリングです。それもただオフロードを突っ走って楽しむことにはしません。むしろ目的は自然にひたることなんです。

出かける時は必ずカメラと双眼鏡それに図鑑を持って行きます。バードウォッチングをしたり、めずらしい草花を見ついたり、自然の中の動植物を観察して楽しむんです」

まさに大自然の中で思う存分アウトドアライフを満喫する富岡さんご夫妻、お2人の足となって活躍する「XT250」です。

●
昨年のモーターショーで高らかに告げられた「ヤマハスポーツ250 cc新時代」宣言は、現在の社会環境の中でも、またバイクそのものとしても多くのメリットを持つ「250 cc」を、日本のモーターサイクルスポーツの原点'80年代のスポーツバイクの主流としてクロージアアップしたものだ。そして、この「XT250」をはじめ「XS250スペシャル」から「RZ250」まで全5機種種のクォーターバイクシリーズは、大きな共感を呼んで新しいお客さまを増やしつつあります。

この新しいお客さまの特徴といえば、この富岡さんご夫妻に象徴されるようなアダルトユーザーであり、また女性ライダーです。

いま話題のクォーターバイクは、若者だけのスポーツバイクから年令、性別を問わず誰もが楽しめるスポーツバイクへ、着実な方向転換を促進しているのです。

省エネと、カブリよやで 男の職場で大活躍のイエロー・タウニー

「当初3千5百台の月間販売目標を大幅に上まわり、3月の新発売時から6月まで4カ月間6千台のハイペースを続けている」という新聞報道を見るまでもなく、男のソフトバイク「タウニー」の強力な市場開拓力は販売店みまさまが肌で実感されていることでしょう。

購入者の90%以上は男性、それも20才代と30才代前半が55%に達している——というデータは、ズバリのを得た「タウニー」の商品性をはっきりと物語るもの。6輪使い分けのファミリーユースからここにご紹介するような男の職場での利用まで「タウニー」による男性ソフトバイク市場の形成は、さらにハイピッチで進んでいるところですよ。

埼玉県大宮市二ツ宮に広がる広大なグランド「東京健保組合・大宮運動場」(古谷常雄所長)では、30万坪にもおよぶスポーツ施設の監視用に4台の黄色い「タウニー」が活躍しています。

埼玉県大宮市二ツ宮に広がる広大なグランド「東京健保組合・大宮運動場」(古谷常雄所長)では、30万坪にもおよぶスポーツ施設の監視用に4台の黄色い「タウニー」が活躍しています。

「オープンして8年、以前はグラウンドの監視を4輪で行っていました。しかし4輪では小回りもきかず、道路からしか監視ができない。それとこれだけ広い日に50、60キロは走りますのでガソリン代もバカにはならないです。そこでまず50ccバイクにしよう」と計画しました。

他のソフトバイクをはじめ候補に上がったバイクはいくつかありましたが、●まずグラウンドを結ぶ道が砂利道なので路面を選ばないバイク●男性監視員が使うので大柄な男性用のバイク●そして何よりもスポーツの場で使うのですからスポーティなバイク……という条件で黄色の「タウニー」となったのです。

まさに省エネや、6輪使い分けは、ファミリーユースにとどまらずこうした職場でも大きな問題となっているわけですが、さらに「タウニー」の導入が思わぬ波及効果を上げているとも話してくださいました。

「タウニーの導入で変わったことといえば、緑の中をイエローの「タウニー」が走りまわることによって非常に目立ち監視効果を上げています。また小回りがききキメ細かい監視ができる。そして一番はスポーツをしに来られたお客さま方に非常に好印象を与えているということです」

さて、この大宮運動場への「タウニー」は、大宮市東宮下のヤマハフレンド店・和田自転車商会(和田圭一社長)さんから販売されたもの。こうしたユニークな職場へのアプローチについて和田社長は

和田自転車商会さんの和田社長と奥さまミズルさん「これを機会に、こうした需要へもどしどしアプローチしていきたい」

「スポーツどころか幅広い「タウニー」はこうした環境にぴったり」と古谷所長



「古谷所長が以前からうちのお客さまということもあったのですが、監視用にタウニーを」とうかがったときには、正直いって少し驚かされたぐらいです。

しかし「タウニー」の性能や個性、特に大柄な車格と解放的なイメージを考えればむしろ当然。こんな需要を考えもしなかったこちらがうかがったと反省したぐらいです。納車にうかがった時などは、こちらから乗り方の説明をするのもどかしいように次つぎに試乗が始まってしまっ、職員のみなさんの評判も上々でした。



《特集》魅力の新商品勢ぞろい
話題性豊かに市場拡大!



↑30万坪の運動場。日に50～60kmも巡視のために走るといふ。巡視員のみなさんも「タウンイ」で気分爽快の毎日

→周囲の緑に「タウンイ」の黄色がみごとに映えてスポーツする人びとの目を奪うこともしばしば



好評実施中!

POCKE & VOGEL
OUTDOOR LIFE
PRESENT

遊びどころ、スポーツどころあふれる男性層を惹きつけ、男性需要の幅を広げる「ポッケ&フォーゲル」この新発売キャンペーンとして、いまプレミアムセール「アウトドアライフプレゼント」を大好評実施中です。メ切りは9月30日。このキャンペーンで「ポッケ&フォーゲル」の拡販をおすすめください。

こんなケースは、うちの商売でも初めてのことですが、これを機会にぜひこうしただお客さま、職域の需要などを拡大していきたいと思っております。なにしろ、この運動場の例でいえば、いろいろな方が、いろいろなかたちでスポーツを楽しみに来られる、もちろん常連の方も少なくはない。そんな環境で活躍する「タウンイ」の注目度が高まるのは当然のこと。納車したのは4台ですが、そのPR効果、波及効果は計り知れないものがあると思っております。

上級ファミリーバイク『ポエット』は わが街「熱海バイク」。 チラシ作戦がまき起こした「大旋風」

先にご紹介した「XTC夫妻」やタウンニューザーの例は、お客さまのニーズを先取りした新機種の群を抜く商品性が、新しい需要層をめざしい勢いで開拓しているケースですが、ここ静岡熱海市では、6月から新登場した上級ファミリーバイク「ポエット」が、市場の特性にドンピシャりと合致。的を得た販売店さまのチラシ作戦とあいまって一大「ポエット」旋風をまき起こしています。

●3・6馬力、オートマチック3段変速、軽量67kg……とファッショナブルなスタイルにファミリーバイク最高の性能と機能を備えて6月に新登場した「ポエット」は、初めてバイクに乗る女性客はもとより――
●ソフトバイクに乗り慣れて上級移向しようという女性ユーザー
●従来の実用車にかわるファッショナブルなビジネスバイクを求めている商店など業務需要の方が

先にもご紹介した「XTC夫妻」やタウンニューザーの例は、お客さまのニーズを先取りした新機種の群を抜く商品性が、新しい需要層をめざしい勢いで開拓しているケースですが、ここ静岡熱海市では、6月から新登場した上級ファミリーバイク「ポエット」が、市場の特性にドンピシャりと合致。的を得た販売店さまのチラシ作戦とあいまって一大「ポエット」旋風をまき起こしています。

せています。

中でも急な坂道が多く、すべてのバイクにある程度のパワーが要求される熱海市のような市場では、この「ポエット」の実力がまさに存分に発揮される場所。そして、この「ポエット」の商品性をフルに活かし、タイムリーなチラシ作戦によって、熱海における「ポエット・ブーム」の震源地となったのが「アタミオートサービス」(吉田正博社長)さん。

「アタミオートサービス」さんの目を見る躍進ぶりの一端は、本誌8月号でもご紹介しましたが、この原動力となっているのがポエット」というほどです。

吉田社長は担当のヤマハマン・岩瀬セールスと十分な話し合いのもとに発売間もない「ポエット」の市場性に着目。「ポエット」を夏商戦の主力車種に据えて、「19度の登坂力」をセールスポイントにこれに的を絞った一大拡販作戦を展開することとなったのです。

この戦法は「折り込みチラシ作戦」。それも「市場に密着した内容に……」と実際のお客さま方の協力も得て作成されたユニークなもの、以下は2回にわたり大きな反響を呼んだ「チラシ作戦」のてん末記です――

ポエット・チラシ第1弾

7月上旬に折り込んだ第1弾チラシ。実際のお客さま・杉田佳世子さん(19才)にご登場願って、熱海なら誰でも知っている急坂「梅園坂」で撮影。この坂をスイスイ登る「ポエット」の高性能がたちまち大きな反響を呼んだ。

だ。(写真①)

第2弾はさらに多くのお客さまを

第1弾の成果をもとに第2弾の内容を検討する吉田社長(中)と奥さまの真弓さん(左)そして岩瀬セールス。

この時点で「ポエット」は●全く新規の女性客●他のファミリーバイクから代替・上級移向の女性ユーザー●また実用車から代替の商店街の人びと……を触発し、性別や用途に関係なくきわめて広い層のお客さまを生み出していた。

そこで第2弾チラシの内容は「さらに多くのタイプの実際のユーザーさんにご登場いただき、ポエットの使用感を語っていただく」となった。(写真②)

第2弾チラシ作成

お酒屋さん、お米屋さん、ホテルや旅館の方がた、保険の集金に愛用するキャリアウーマンのお客さまなど、ポエットを仕事に使うお客さまがた。一方、喫茶店のママ、パートの主婦、看護婦さん、女学生……など暮しの足に愛用する人たち。いろいろなタイプのお客さまに協力を要請し、チラシに掲載する写真を撮影。吉田社長と岩瀬セールスが分担してカメラマンを……。 (写真③)

狙いどおりの大成果

こうして完成した第2弾チラシは、8月中旬に折り込まれ、第1弾にも増して大きな



①



②



《特集》魅力の新商品勢ぞろい
話題性豊かに市場拡大!



③ ↑ →



④

YAMAHA

秋だから...  当店からのご提案。使いわけよう... 4輪と2輪。おしゃれにバイクライフ!!
街は小さな小さなクルマがいい。

9月16日からスタート! 秋の拡販キャンペーン

お客さまにも、お店のみなさまにも、もうすっかりおなじみとなったヤマハのシーズンキャンペーン。いよいよ9月16日からは、秋のキャンペーンのスタートです。
「秋だから おしゃれに バイクライフ」をテーマに、バイク+用品・部品+アフターサービスの「システム販売」と、ファッションブルなカラーコーディネートによる店頭演出を中心としたもの。
横断幕には好評のアイロンプリントを再び採用。どうぞ秋の商戦にお店の個性を存分に発揮してください。

反響を呼んだ。
特に「ポエット」が、女性ユーザーばかりでなく商店街の人びともその効用性を理解され、この方面のお客さまが増えたのは、まさに狙いどおりの大成功。(写真④)

こうして、人口約5万人の熱海市に1回に配布されたチラシは1万5千部。この市全域をカバーするチラシ作戦によって、8月20日現在「アタミオートサービス」さんの「ポエット」販売台数は45台にものぼっているのです。

都心のスポーツプラザを会場に 一大ヤマハバイクフェアで秋商戦をリード!

さて以上、魅力の新商品群それぞれの位置づけとセールスポイント、また新商品にまつわるお客さまの話、お店の話題をこ紹介してきましたが、これら新商品を強力な武器として、秋商戦をリードするのはもちろん積極的な打って出る二商売の展開です。

←ヤングでにぎわう都心のスポーツプラザの1階フロアにヤマハバイクの一大展示

↓学生街という場所柄かやはり人気のマツは「RZ250」をはじめとする250ccスポーツ、そして「ポッケ&フォーゲル」のレジャーバイク



充実した商品構成を前に秋商戦へ意欲を高める大月社長(左)と「バイクのフェアは初めて。ヤマハに対する若者の関心と人気の高さには驚かされました」というビッグボックス企画担当の目黒さん

東京都江戸川区の大月ヤマハスポーツショップ(大月信和社長)さんでは、8月10日から17日までの8日間、都内新宿区高田馬場のスポーツプラザ「ビッグ・ボックス」を会場に一大ヤマハバイクフェアを開催しました。

会場は西武新宿線高田馬場駅のターミナルにあり、しかも早稲田大学を控えた学生街としてにぎわうヤングの街。「ビッグ・ボックス」1階フロアの展示会場には、タウニイやポエットのソフトバイク、ポッケ&フォーゲルのレジャーバイク、そして注目の「RZ250」をはじめとするクォーターバイクシリーズなど話題の新商品を中心に約50台のバイクが展示され、ヤマハのニューモデル攻勢にわく市場のムードをさらに盛り上げる一大モンストレーションがくりひろげられたのです。

「ちょうど8月の第3週は旧盆とあって集客のむずかしい時期、それだけに「話題性のあるヤマハのニューモデル展示会をぜひ」と会場の方から依頼があったのです。

もちろんスポーツプラザとヤマハのニュースポーツしかもヤングの街ということもあってうちの店としても精力的にムードづくりにつとめたつもりです。ちょうど「RZ250」の発売直後というタイミングの良さも手伝って人気は最高ですね。急に決まった企画なのでチラシの折込みや宣伝など十分な事前の告知活動もできませんでしたが、新商品の拡販が勝負となる秋商戦のスタートとしては絶好の催しでした」と大月社長も、いま市場の話題をさらう新商品群でくりひろげる秋の商戦に大きな意欲をみながらせていました。

ワイルド感覚のニューレジャーバイク

VOGEL フォーゲル QB50 新発売!

●カラー：アロマグリーン/ニューエルトロオレンジ/ニューホワイト

フォーゲルの 主な仕様諸元

●全長1485mm ●全幅690mm ●全高950mm ●軸間距離885mm ●シート高674mm ●乾燥重量57kg
●2サイクル・トルクインダクション・単気筒・49cc ●最高出力3.0PS/5500r.p.m. ●最大トルク0.42kg-m/4000r.p.m. ●始動方式キック ●点火方式CDI ●クラッチ・ハンドクラッチ ●変速機リターン式4段 ●燃料タンク容量10ℓ ●オイルタンク容量0.8ℓ ●フレーム鋼管ダイヤモンド型 ●タイヤ（前後とも）3.50-8-2PR ●ヘッドランプ6V25W 25W



先月号でご紹介したペットバイク『ポッケQA50』にひきつづき、8月10日から『フォーゲルQB50』が新発売となっています。

タウンイメージの小粋な『ポッケ』に対して、この『フォーゲル』はワイルド感覚あふれるオールマイティバイク、お客さまのアウトドアライフをもり上げる新感覚のレジャーバイクです。

折りしもスポーツの秋、行楽の秋のスタート。どうぞ『ポッケ&フォーゲル』で、新しい男性需要層の開拓をおすすめください。

フォーゲルQB50の主なセールスポイント

- アドベンチャーフィーリング、ジープ感覚の頼もしいスタイリング
- 2サイクル・トルクインダクションエンジン、ハンドクラッチ、4速ミッション、CDI点火……のハイメカニズム



- 8インチタイヤの前後輪と大型シートでゆとりある乗車姿勢
- ブロックパターンタイヤ、エンジンガード、ゴムブーツ付フロントフォーク、前後の大型キャリアなど充実したオフロード装備
- 10ℓ容量の大型タンクと75km/ℓの低燃費で長距離走行もらくらく

- 折りたたみ可能式ハンドル、開閉レバーキャブレター、57kgの軽い車重……などアウトドアレジャーの幅を広げる車載機能
- 格納スペースをとらない収納性
- 25Wヘッドライト、オイル警告灯、ブレーキライティング摩耗インジケーター、レギュレーター……など充実した安全装備

BIG

にサマーバケーション

人と自然とスポーツのふれ合い '80夏のスポーツランドSUGO



●全国から50チームが参加したSLカートサマーフェスティバル。より耐久レースの内容も増してコース上では熱い火花が散らされた

●夜はバーベキューハウスで歌とビールでにぎやかに

毎年恒例となった「サマー・フェスティバル・イン・SUGO」。第6回目を迎えた今年、7月13日のロードレース大会を皮切りに、トライアル(7/20)、モトクロス(8/3)、カート(8/2・3)のモータースポーツ競技をはじめ、数かずのビッグ・イベントが開催。「人と自然とスポーツのふれ合い」のテーマにふさわしく、青空のもと全国から集まったヤマハファンによる熱い交流が繰り返ひろげられました。

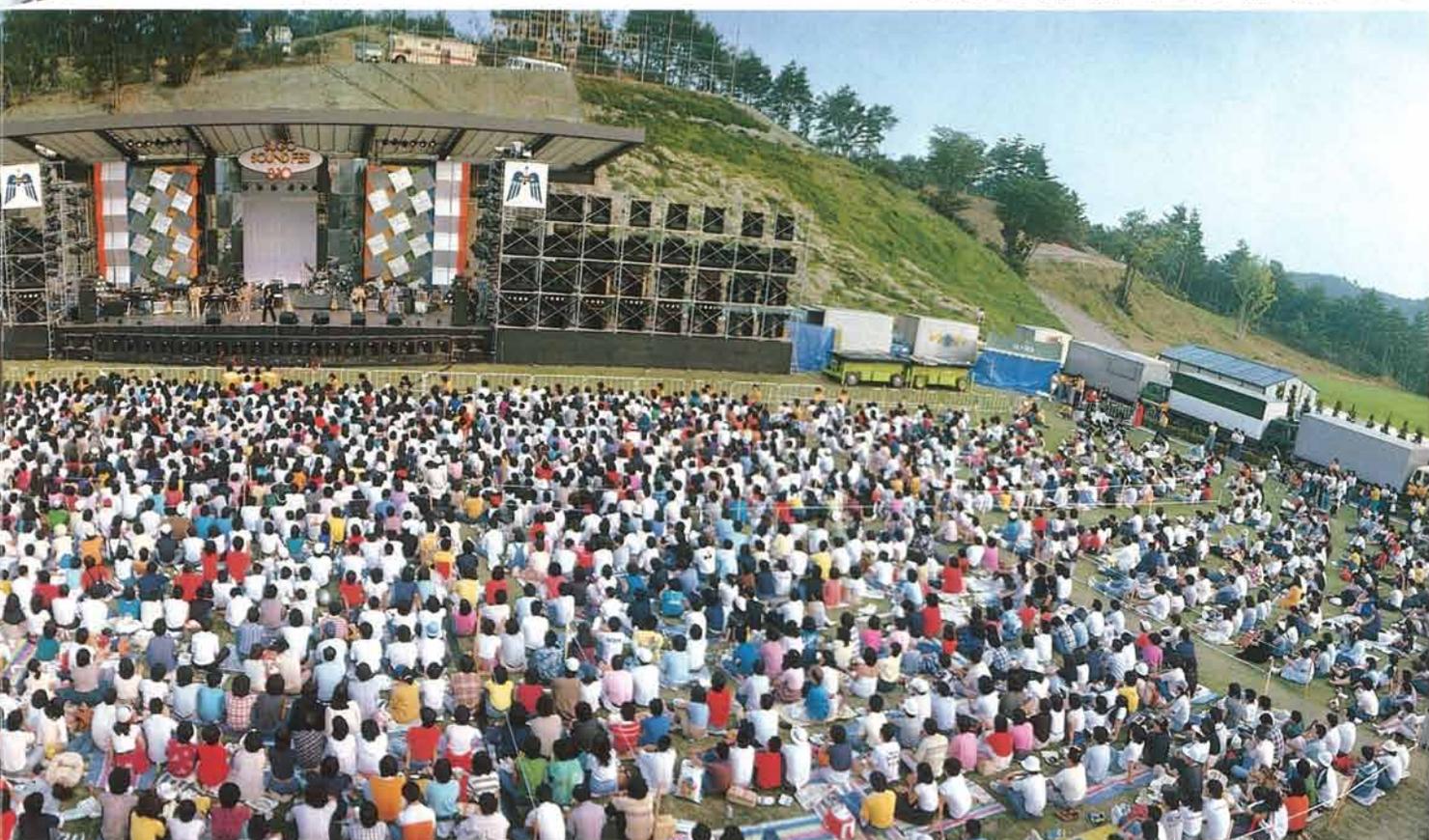
冷夏といわれたこの夏の日本列島ですが、SUGOは例年になくビッグに、ホットなもりあがりをみせていました。というのも8月1日から210万平方メートルのレクリエーションゾーンには、新たに2つの新施設が誕生したからです。まず、そのひとつは、21面の

規模を誇る会員制のSUGOテニスクラブで、もうひとつが多目的広場として新設されたSP広場です。

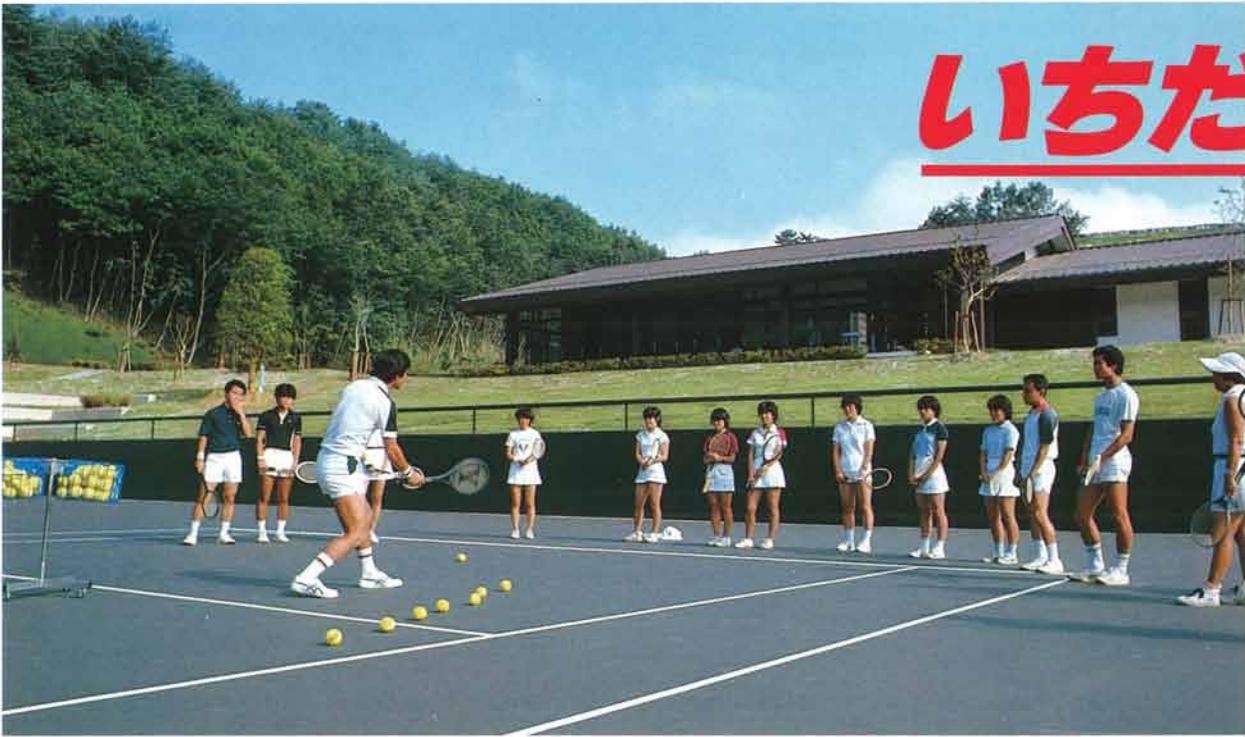
8月1日、オープン記念式典とともに開催されたSUGOテニスクラブのエキシビジョンマッチには、当クラブのアドバイザープロとなった田村伸也選手をはじめ4名の有名プロが参加。さらに、5つのクラスが用意されたテニススクールも好調にスタートを切り、テニスファンの中で大人気です。

一方、常設舞台が設置されたSP広場でも8月10日にクリスタルキングや八神純子、桑名正博&ティアドロップらを呼んで第1回SUGOサウンドフェスを開催。緑の芝生の大広場に1万人の音楽ファンが集まり、真夏の夜の一大コンサートに酔いしれていました。

●ビッグにオープンしたSP広場での第1回SUGOサウンドフェスには1万3千人の聴衆が集まって、延々9時間にわたるロングラン



いちだんと



- ◎ 東北の一大テニスゾーンとなったSUGOテニスクラブ。スクールは早くも人気上々
- ◎ 21面のコートの内訳はハード14面、クレイ4面、インドア（ハード）3面。クラブハウスも諸設備が完備し、リッチな雰囲気たっぷり



- ◎ 全国11ブロックから集まったモトクロスファンによる大熱戦！SLモトクロス全国大会はSUGOハイランドで開催。10歳から37歳までのファミリーードあふれる一大祭典が繰りひろげられた
- ◎ 女性愛好者の多いカートスポーツならではのレースクイーンコンテスト

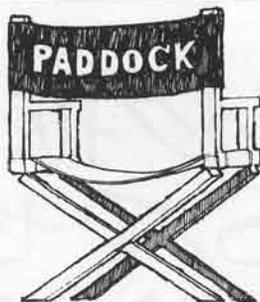




旅ごころ

ゴールデンゲートブリッジの薄暮。行きかう車のヘッドライトがサンフランシスコと対岸の間に2.78キロの光の橋をかける。

ヤングからミドル、ミスからミセスまでの話題と流行の情報コーナー・話のパドック。お客さまとの話のタネに、どうぞ――



テクノロジー

●乗り心地の基準見直し

とはいえこれは国鉄のお話。現在の列車の乗り心地基準は'48年にアメリカ自動車技術協会が行なった提案やアメリカ鉄道連合の試験結果を参考に設定されたもので、20年近くも変わっていません。

上下、左右、前後の3方向の車両振動を「非常に良好」「良好」「普通」「悪い」「非常に悪い」の5ランクに分けて評価するものですが、なにせ基準設定の基礎研究が古いのと、人体への感覚、生理的影響などが加味されていないため、振動の測定値や体感振動を加味した新しい「乗り心地基準」をつくらうという作業が始められています。「乗り心地管理基準に関する研究委員会」まで発足していますが、オーソナルエンジンマウントで話題の「RZ 250」の低振動など、新しい基準で計るとどんなになるのでしょうか。国鉄サン。

●目標230km/h

国鉄の技術の話をもうひとつ。「より速く」は人間の限りない夢、というわけが国鉄が東北・上越新幹線で現在の東海道・山陽新幹線よりも20km/hも早い230km/hへのスピードアップを計画し話題を集めています。

当の国鉄をはじめ沿線住民、利用者それぞれにこのスピードアップに対する受けとめ方

も複雑ですが、フランス、西独、イタリアなどが高速列車の運転を計画、フランス国鉄のTGV（超高速列車）が来年10月、パリ・リヨン間を260km/hで運転する。このため、17年間守りつづけた「スピード世界一」の座をフランスに奪われてしまうので新幹線もスピードアップをと、まるで「世界グランプリ」なみ。心境一層複雑な人も増えそうです。

アイデア

●11月14日はパチンコの日

ファンの高齢化、ヤングのパチンコ離れに悩むパチンコ業界が力を合わせて人気ばん回にとり組むことになりちょっとした話題となっています。これは8月に全国遊技業協同組合連合会が各都道府県代表を集めて理事会を開いて決定したものです。

その内容は、全遊協が法的に認可された11月14日を「パチンコの日」と制定。その日から5日間を「感謝デー」として一大サービスキャンペーンを展開するもの。

業界として初のテレビ・ラジオCMや芸能人を集めてのパチンココンクールなども開催し、魅力あるパチンコの復活に全力をあげるとか。成行きが大いに注目されるそうです。

●祭もアイデア

夏祭り、盆踊り、秋祭り……なにはともあ

れ祭の盛んなこれからです。こんな折、8月23、24日の両日には茨城県勝田市で型破りな市民祭が開かれて話題を集めました。

話題のマトは、長さ200メートルの綱を使っている「1万人の綱引き」。これで文字通り市民の心を結ぼうというわけで、同時に長さ5メートルのトンカツ、油揚げを作って、この売り上げを福祉団体に寄付する催しも。

これらはいずれも「10万人の青空展」（歩行者天国）で行なわれたもので、綱引きには1回4～500人が参加したほど。地域社会内のお祭りもアイデア競争という昨今。特に新興住宅地などではこうした新しい住民の心をつなぐ企画がめじろおしです。

スポーツ

●3分の1は女性

大衆化、ファッション化がめざましいスピードで進むアメリカのスポーツ社会。町でも、郊外でもファッションナブルなスポーツウェアは至る所で見かけられるほどです。ところでこんな傾向を促進している一連の原動力は、女性の進出とか。スポーツ人口の3分の1は女性、という見方が一般的で、自転車、水泳、テニスの3種目では完全に女性の数が上まわっているというレポートもあるほどです。

そしてスポーツに特に熱心なのは仕事を持つキャリアウーマンで、会社への進出に比例して女性のスポーツ人口も増えているといえます。当然のことながらスポーツ用具メーカーの目も焦点は女性。あるメーカーが骨折やケガを防ぐための「女性テーピング教室」を開いて大反響とか。ファッションナブルになるのもナルホド、とうなづけるところです。

●フィジカル・フィットネス

この女性の進出と合わせてもうひとつ、アメリカ・スポーツの大衆化を進めているのがフィジカル・フィットネス。

この言葉、故ケネディ大統領が提唱したといわれるもので、つまりは「太らず、かつやせ過ぎず、ちょうど良い状態に保つ」という意味。

「今やフィットネスはアメリカ人の生活の一部。スポーツビジネスに携わる者にとっては目を離せない」という人もいるほど。スポーツと日常生活の密着、ジョギングブーム、スポーツクラブの大盛況、すべての源泉はフィットネスにありといえそうです。

免許証はどの「ポッケ、だったかな？



スポーツバイク拡販めざして 〈YRS〉でセンスアップ

ヤマハライディングスクールの、もうひとつの活用法

「これだけスポーツバイクのラインナップが充実したからには、もっと拡販に力を入れなければ!」「これからは“遊び、そのものを売っていく時代”」「そもそも私達自身が遊び心をもって商売しなければネッ」

スポーツバイクのニューモデルが続々と登場するにつれて、販売

店さんの間から上がる声として最近とみに耳にするのが、こんな内容のお話。そして、そんな販売店さんがセンスアップをはかるために、ここに来てヤマハ安全運転推進本部が主催する〈ヤマハライディングスクール〉に、お客さまともども参加されるケースが目立っています。



技量の向上と遊び心の発見をはかる

ヤマハ安全運転推進本部が「ヤマハライディングスクール」を開校したのは、昨年春のこと。その目的はといえば、真のロードマスタを育成する一環としての二輪車安全運転訓練にあったことはいまでもありません。本格的なロードコースからモトクロスコースまで、おおよそバイクの乗車訓練に必要なものは何から何まで完備されたスポーツランドSUGOを舞台に、繰りひろげられる多面的な安全運転指導。以来、ここから育っていたライダーの数はゆうに200名を超えています。

もちろん、この人気の秘密はハイレベルな指導体制と内容にあったわけですが、もうひとつ見落してならないものとしては、同時にバイクの遊び心を発見させる——という試みがなされていたこと。そして、このことがスポーツバイクを販売するお店に対しても、大いに共感を呼んでいたのです。

体験を生かした販促活動で 一大喚起を

すでに今年4回のスクールが実施されていますが、そのうち7月のスクールに参加された販売店さんのおひとり、みどりや商会(福島県郡山市)さんの馬場秀美社長は、こんな感想を語ってくれました。

「自分で750ccに乗っているし、指導員の講習会も受けているので安全運転についてはいささか自信があったのですが、実際ハイレベルな走りに挑戦してみたかったです。今回、オンとオフの両方にトライしてみました。ある程度の限界まで試すことができた。それは自分の力量を知ることができました。それは、もかくバイクがこんなに面白かったなんて、この秋の商戦では250ccスポーツをメインに売り出しを図ろうと思っていたんですが、この体験はお客さまとの会話の上でも大いに役立ちそうですネ。」

ちなみに、ヤマハライディングスクールのカリキュラムを紹介すると、前日の夕方にス



オフロード訓練と人気を二分する高速走行訓練



気分転換に昼食後のひとときはアーチェリーを楽しんだ



夜はビデオで自分たちの走りをチェック



かなりハードな訓練でシゴかれた受講者たち。しかし、その顔には快心の笑みが

YRSの招待イベント

ポーツランドSUGOに入り受けを済ませ、第一目の早朝に体操と朝食。午前8時より開講式とオリエンテーションを行い、午前中は基本バランス、ブレーキング、コーナリングの訓練と実力診断。昼食後のひときはアーチェリーで気分をほぐし、午後からはロードコースで高速走行訓練と実力診断。そして、午後5時より座学を行い、夕食後はビデオで復習する——という具合です。

続いての第二日は、やはり早朝体操から始まり、場所をSUGOハイランドに移してオフロード走行とモトクロス走行の訓練と実力診断。昼食をとって午後から閉講式を行い、それぞれの実力診断を合わせてランクの認定を行なうものです。

一方、この2日コースに加えて、今年からは日曜だけの1日コースも新設されていますが、これがまた手軽に受講できるとお客さまや販売店さんの間で大好評。地元のライダーを中心に、受講希望の声が回を追うことに増えています。

去る8月10日にも、この1日コースは実施されましたが、受講者のおひとり、モーターサイクルサロン・ビッグベン(宮城県仙台市)の高田泉社長は、その効用性について次のように語っていたのです。

「もともとロードレースやモトクロスは店ぐるみで盛んでしたが、XT250やXJ400の登場によって高校生のお客さまがここに来て増えてきたので、いっちゃん皆さんで受けようかということになり4名が参加したんです。最初は安全運転教室のグレードアップ版ぐらいにしか思っていなかったのですが、その内容たるやなかなかハードなのでビックリ。皆さんもなかなかよかったですと好評でした。ついこのあいだも女房と話していたんですが、250cc以上のスポーツバイクを購入いただいたお客さまには、そのサービスとしてYRSへ招待して安全運転の訓練を受けてもらおうかなとも考えているんです」



こんにちは
ヤマハです

'80-9

ざっしょ
雑餉ホンダ 渡辺 親雄社長
福岡市博多区相生町3の30 ☎092-501-6110

←1階、入口を入り左側のヤマハバイクコーナー。後方は用品コーナー、接客コーナー、修理・事務コーナーとつく

総工費約1億円、1階が85坪、2階が95坪、店内陳列台数約300台……というビッグスケールの販売店さんが、この2月に九州は福岡市にオープンして話題を集めています。おそらく日本でも一、二と思われる立派な店舗を構えたのは雑餉ホンダさん。渡辺社長は――

新店舗にして一番変わったのは女性のお客が増えたいです。スポーツファッションをあわせて来店客が1ロー100名を割る日は少ない……。

「16年間にわたるバイク販売の経験を活かして思い切った店舗の新築に踏み切りました。結果は圧倒的な女性客の増加をはじめ予想以上の効果を上げており、この投資はまさに正解でした」と順調なご商売の拡大に自信を深めているところですよ。

シヨールームのような店舗をつくりバイク好きの人たちに解放したかった

渡辺社長は10年前、アメリカの販売店の視察旅行に出かけ、この時にいまの大店舗の構想をもったといいます。

「アメリカでは、いろいろな店を見てまわりましたが、総体的に店が広くバイクや用品類の陳列が豊富で、店舗とサービス場が切り離されており、感心することばかり。そして近い将来、日本のバイク店もこんな姿になるだろう。いや、していかなければならないと痛感しました。この時、描いた自分の店のイメージをなんとか実現させようと努力してきたのです」

渡辺社長が描いた「店舗像」は、各車種、各色のバイクがズラリと揃い、用品・部品も豊富に陳列、お客さまが自分の好みに合ったバイクや用品を即座に納得して買い求めることができる店、いわば「バイクのデパート」でした。

「デパートには、シヨールームの要素があるでしょう。バイク店にもこの要素が必要。というより、そうした店にお客さまが集まるところは誰もが認めることですね。」

新車、中古車を問わず可能な限り豊富に揃え、バイクの好きな人々に店を解放する。買おうとする人も、ただ見て楽しむだけの人も気軽に店に入っていただけ、というのが

構想の基本でした

「あの店に行けば現物が見られる。――これはお店にとって大きな特徴であり、お客さまにとってはたまらない魅力にちがいありません。それだけでなく16年間の実績によって十分な知名度を保持していた雑餉ホンダさんですが、新装オープンした立派な店舗のこのシヨールーム要素は、お客さまの話題を呼び評判をますます高めて、新しいお客さまの来店促進に効果を発揮しているのです。」

ナットひとつでも

お客さまとの

約束を守る

誠心誠意が

店のモットー

開業以来16年間ご努力を積み重ね、こんなに立派な店舗を構えられた渡辺社長ですが、



ヤマハ福岡福岡営業所の小林所長(左)と秋のセールスについて話し合う渡辺社長と奥さまの紀代子さん



2階のヤマハコーナー



「なんでも揃っている」という表現がピッタリの用品・部品コーナー



一貫して持ち続けてこられたモットーは、「誠心誠意」。
「店が立派であることは、もちろん商売に好影響をもたらしますが、店を立派にさえずればお客さまが集まる、つまり儲かる、というほど、私たちの商売は甘くありません。
商売の基本はなんといっても誠心誠意お客さまに接することです。
開業以来、どんな小さな約束ごと、例えば

「ナットひとつのこともお客さまとの約束はしっかり守ってきました。つまり、アフターサービスに最も力を入れてきました。そうした姿勢で商売に取り組んできたからこそ、人びとに信頼され、宣伝してもらえ、店になったのだと思います。
店を大きくしてから、お客さまはますます増えていますが、これだけは今後も守り通し「アフターサービスの良い店」の評判は、決

雑餉ホンダさんのご商売の概要

- 立地と商圈
九州の玄関・博多駅より南東へ約10km。周辺は昔から「雑餉」と呼ばれ、それが店名に。
商圈は、福岡市南の住宅街から春日市、大野城市などベッドタウン化の進む地域。
一方、スポーツバイクに関しては、福岡、北九州、久留米、大牟田など県下一円さらには佐賀県などからも来店者を集めている。
- 店舗
◆敷地 180坪 ◆店舗……1階 85坪 2階95坪 ◆サービスエ
- スタッフ
社長、奥さま、サービスマン3名
- 販売促進活動
◆特別セール……年に2~3回目玉商品を揃えた特別セールを実施。このセールを西日本新聞で告知
◆原付免許教室……ヤマハ福岡の合同教室と自習セットの2本立て
◆スポーツ活動……「九州コンペティション」というロードとモトクロスのクラブの事務所となっている。会員は15名。

してくつがえすことがないようにしていくつもりです」

圧倒的に増えた女性客

一日の来店客は100人以上

もともと、県下有数のバイク販売店であった同店の商圈は、他店に比べ広いものでした。が、新築オープンして、最も変化があったのは、女性客、つまりソフトバイクユーザーの急増です。

お客さまたちが新しいお客さまを紹介してくれるというかたちが多かった。いままでのソフトバイク販売が、魅力ある店舗によって一層顕著になり、確実に実売に結びつくようになったのです。

一方、スポーツバイクは春先から相ついで登場したヤマハの新商品群が大きく貢献して、これまた順調。そして、この面で特にお客さまの人気を集めているのが、在庫総額3千万円ともいわれるほど多くの用品・部品類の品ぞろえと3人のベテランスタッフによる定評のあるアフターサービスです。

こうして、県外からの来店者も多いという夏休み8月は、まさにご商売も最高潮。ファミリー、スポーツ合わせて1日の来店客が100名を割る日は少ない」というほどの活況をみせていました。

●吉川雅之



●お店づくり ●顧客づくり ●利益づくり

前回ご紹介した「計画」の基本として、今月は「目標」についてとり上げました。お店の「目標」を設定する、そしてそれを実現するための計画を練る——折りしも'81年のご商売の目標設定の時期です。どうぞ前回内容とあわせてご一読を。

●筆者紹介

吉川雅之（昭和14年生）産業能率大学経営管理研究所研究員、産業能率短期大学専任講師（販売促進）著書に「新しい販売促進」（共著・酒井書店）「得意先についての知識」等がある。趣味はバイク。DT125、TY125等数台を所有、ユーザーとして販売店さまのおつきあいもある。

「目標」の不明な仕事は ストッププウオッチのないレース

●販売高だけが目標ではない！

「おたくのお店は今期の目標は？」という問いに
対して「うちの目標は〇〇台ですよ」とすぐに答
えが返ってきたそうです。バイク業界でもそれ
だけ「目標」という言葉が浸透してきたのでし
ょう。でも、この目標という言葉は通常経営学で
使う目標という言葉とはやや違うようです。
目標というのは販売高（販売台数）だけを示
すものではありません。販売台数というのは
売上目標といって最も重要なものですが、決
してそれだけが目標とは限りません。

ロードレースでも、モトクロスでもライダー
は同じコースを何回も走っています。おそ
らくそういう人達がスピードに酔い痴れて楽
しくてしかたがないからやっている、という
のではないでしょう。むしろ、つらい苦しい
訓練であっても、それでよい成績が出るのな
らすすんで苦しい訓練も続けるでしょう。
そして、ライダーにとって1秒あるいは何分
の1秒かを短縮することが生きがいになっ

くるのです。あるいは、目標とするライバル
がいて、その人よりもほんの少しでも速く走
ることが目標の人もあるでしょう。

余談ですが、昔100メートルの世界記録
を1秒も短縮したランナーに対して「彼はそ
の短縮した1秒を何に使うのだろう」と皮肉
った人があります。縁なき衆生とはそんなも
のなのでしょう。

もしも、ラップタイムを計るストッププウオッチ
がなく、ライバルもいなく、1人でレースをする
というようなことになったら果してあんなに練
習に熱中できるものでしょうか？何か物足り
なく感じ、張合いもなくなってくるでしょう。

経営における目標というのと同じようなも
のなのです。経営においても、目標があるこ
とでそれを達成することが喜びになってくる
のです。ただし、経営の場合はレースのよう
にただ速ければよい、速さがすべて、という
単純なものではないのです。つまり「台数」
ばかりでなく、その他にも目標が必要になる
ということなのです。

●目標はなぜ持つのか!?

ひとつは前に述べたレースにおけるラップ
タイムやライバルの存在と同じく、自分自身
にヤル気を起こさせるためのものです。

これを達成しようという目標があった時に
はじめてヤル気を出して、それにチャレンジ
する気になれるからです。

ふたつめは、自分で目標を決定することで何が
大切か、何をしなければならぬか、がはっきり
するからです。毎日忙しい忙しいと過しているう
ちに目先のことに追われ、案外大切なことを忘れ
る、などということがあつてはならないのです。

第3に、ここまでやった、という結果を知
ることができるところです。年末や期末になっ
ても目標がはっきりしていなければ、今年（今
期）はよい仕事をしたのかどうかかわりませ
ん。一生懸命やったというだけで、結果が良
かったのか悪かったのかもわからないとすれ
ば、ストッププウオッチのないレースのようにな
んとも空しい気持ちになってしまうでしょう。
また反省の材料も、ここまでやろう、という



目標があつてはじめて出てくるものです。
第4に、前回お話しした計画の基本が、この目標なのです。目標を達成する、そのために何をやるか、という組み合わせが、計画となるわけです。

●目標の種類

ご商売における目標の中で最も重要なものはもちろん販売台数(金額)ですが、その他にも例えば――

- 1、荒利を〇〇円以上にする
 - 2、経費を〇〇円以内にする
 - 3、帳簿のつけ方をマスターする
 - 4、新しいお客さまの数を何人以上にする
 - 5、従業員が自分でも売れるように教育する
 - 6、安全運転指導員の資格を手に入れる
 - 7、女性にも親しみやすい店にする
 - 8、女性客を〇〇%以上にする
 - 9、用品の売上げを〇〇円にする
 - 10、1日のうち〇時間はセールスに専念する
- などなど、いろいろあるはずですが、目標として何を設定すればよいかは、お店によってそれぞれ違いがあつて当然です。まず、ご自分のお店で、今、何が最も重要な課題なのかを考えてみることにします。

●目標の条件

そして具体的に目標を設定する場合に気をつけなければならない点をあげてみましょう。
1) 目標の数は2つ以上、5つ以内
売上げ(台数や金額)の目標の他に、今何が重要とされているのか? を考えてみましょう。といっても、目標が多すぎるとは全部をいつも考えていることができなくなり、せいぜい5つくらいまでに絞るべきです。
2) 簡単すぎず、難かしすぎない
あまり簡単で、できるのが当たり前、すぐにも達成されるのでは目標とはなりません。努力してはじめて成し遂げられるものでなければやりがいもありませんし、また成し遂げた時の喜びも生まれませんでしょう。

しかし、あまり高すぎる目標も達成ができません。途中で「どうせダメだろう」とあきらめてしまう結果となり、目標がなかった

のと同じことになってしまいます。決して不能ではないが、努力しなければ成し遂げられない、というのが良い目標なのです。

3) 目標はできるだけ具体的、定量的(金額、数量、割合、比率など)に定める

「できるだけたくさん」などというのは、目標になりません。どれだけ、というのをできれば数字で出してください。

数字で出せないもの(例えば自分や従業員の能力の向上、自店のイメージの改善など)は、どうなったら達成したといえるか、達成したことが判断できるようにしておくことが望ましいのです。したがって、達成度の測定基準や判定方法について考えておくといひでしょう。

●目標設定のしかた

また、目標を設定するには、次の各項目が明確になつていなければなりません。

- 1 対象……何をするのか
例えば「売上げ台数(金額)を」「新規のお客さまを」「従業員の能力を」といった部分をまずはっきりさせておきます。
- 2 基準……どこまでやるのか
「できるだけ」というのは目標ではないといひました。「これだけはやろう」という基準を選定するのです。できれば数字で示されていることが望ましいのです。
- 3 期限……いつまでに
ダラダラとすすめていけば、いずれは立ち消えになるか、間に合わなくなるかも知れません。いつまでに成し遂げるかを明確に打出しておきます。
- 4 方針と方法……どのようにするか
それを成すに当つての条件や留意点と、どのようにしてそれを成し遂げるか、という方法について考えておきます。

この方法は、必ずしも同じ紙に書いておく必要はありませんが、計画として別紙に書いておくべきです。(計画については、前号の本欄をご参照ください)
さて、以上の4項目のうち1から3までと4のうちの条件や留意点までは、1枚の紙に書き出してください。そして、絶えずそれを見なおして頭の中に叩き込み、つねに意識しておくことが必要です。

また、この目標記述書が完成した段階で、奥さまや従業員の方にも示し、十分に納得してもらつるように努力したいものです。

さらに、この目標の中で奥さまや従業員の方の果す役割は何なのか、何をしてもらいたいのか、何ができるのか――を話し合い、協力体制を作ることも必要でしょう。

●実施にあたって

目標記述書は、作ればそれで終りではありません。いつも出して見ると同時に、現在の進展状況はどうなのか、予定どおり進んでいるかどうかをチェックします。

もしも途中で、なんらかの原因で達成が困難になるような事態が起こつたとしても、早目に気づいて手を打てば、問題が小さなうちに修理することができ、悪の芽は小さいうちにつみとつておくことがコツなのです。

●目標記述書の例

目標(何を～)	達成基準(どれだけ～)	期限(いつまでに～)	方針(どのようにして～)
1. 用品売上高を増やす	全売上高の20%	'81年1月まで	用品コーナー新設
2. マーケットリーダーの育成	5名	'81年12月	紹介販売セール

最後に、目標を設定する時のチェックリストを挙げておきます。どうぞご参考に。

- 1、目標は明確な言葉で示されているか
何をすればよいか、が具体的にわかるようになっていいますか? 「とにかくガンバレ」式の抽象的な内容では何をすればよいか、がわかりません。
- 2、目標は、お店の現状の中で最も重要な事項になつているか
- 3、他に重要な事項を見落していないか
- 4、目標は難かしすぎたり、やさしすぎたりしてはいないか
- 5、目標の達成はお客さま、地域社会、取引先(メーカー)等の利益と矛盾していないか
まわりの人から受け入れてもらえないような目標では、決して長続きはしないものと考えてよいでしょう。
(つづく)



フィンランド(写真)イギリスと着実にポイントを重ねV3の偉業にひた走るケニーとニューYZR500

世界選手権ロードレースシリーズ

ケニー・ロバーツ+YZR500
V3決定は最終戦へ

80世界選手権シリーズは、8月3日のスウェーデンGPが主催者の都合で中止、また雪のため最終戦に延期されていたオーストラリアGPも結局はキャンセルされて全10戦で幕を閉じることとなった。

注目の500ccクラスは、第7戦イギリスGPで最終戦を待たずにケニー・ロバーツとヤマハYZR500の3年連続制覇が期待されたが、ランキング2位のR・マモラ(スズキ)が健闘、結局ケニーのV3は、8月24日の最終戦・西ドイツGPへ持ち込まれてしまった。

シリーズ第7戦(500ccクラスとしては6戦目)のフィンランドGPは、7月27日、イマトラで行なわれた。気温33度、公道コースを26周、128kmにわたってくりひろげられるレースである。

ここで、ケニーとYZR500は、ルツチネリ、ハートク、ロッシ、3台のRGB500と大接戦を展開。先行するルツチネリ、ロッシ

シがオーバーペースで相ついでリタイヤする中を確実に走って今季初優勝のハートクにつづき2位をキープ。ランキングポイントでも2位のマモラとの差を16点と開いたものであった。

この結果、8月10日のイギリスGP・シルバーストーンの結果いかんでは最終戦を待たずにケニーのV3も決定することとなった。しかし、ここではマモラが大ハッスル。今シーズン2度目の優勝を果し、対するケニーは2位となったためケニーのV3は最終戦、8月24日のニューブルクリンクに持ち込まれることとなった。

もちろん、本誌がみなさまのお手許に届くころにはこの結果も決定するが、最終戦までのポイント差はケニーの79に対してマモラの66。つまりマモラが初の世界選手権を獲得するためには、彼自身の最終戦優勝は絶対条件であり、同時にケニーが9位以下に終わらなければならぬといえ、ケニーV3の確率はきわめて高いといえる。

世界選手権モトクロスシリーズ

光安、ランキング5位をキープ

ヤマハ勢
4戦連続総合優勝!

125cc級

500cc級

125cc級世界選手権モトクロスシリーズは、7月27日のアメリカGPで10戦を終了、最終戦スペインGPを残すのみとなった。アメリカ・オハイオ州のミッドオハイオモトクロスパークで行なわれたこの大会は、ヨロツバから連捷したランキングライダーが全くふるわず両ヒートの上位はほとんどが無名のアメリカ人ライダーによって独占された。

このため、ランキングテーブルも全く変動なく、M・バルケニヤスは110点で4位、そして光安鉄美は105点で5位をキープしている。

一方、8月3日のベルギーGPで11戦を終了、こちらも最終戦を残すのみとなった500cc級。

6月29日のカナダGPでH・カルキビストが両ヒート2位で総合優勝。また、7月20日の第10戦・西ドイツGPでも第1ヒートにA・プロマンズ、第2ヒートにH・カルキビストが優勝。総合優勝はプロマンズとなり、この結果第7戦オランダGPのプロマンズ以来



カナダGPでの総合優勝以来復調著しいH・カルキビスト(西ドイツGPで)

USAモトクロス

M・ベル+YZM250

スーパークロスシリーズをリード!

アメリカで最大の人気を集めるモトクロスシリーズ「スーパークロス」シリーズは、7月13日のロサンゼルスでシリーズ16戦中の14戦を終了した。

マシンは250cc、スタジアムに特設コースを設け、ナイターで行なわれるこのシリー

ズは、また同じ会場の2日間2戦(7月12日に第13戦、7月13日に第14戦)がいずれもロサンゼルスでというように、ずつ行なわれるのが特徴。

今シーズンは、人気者、ハリケーン・ハナ(ヤマハ)に代わってマイク・ベルが第1戦から

第8戦アメリカGPのM・モーツも加え、ヤマハラライダーが連続4GPを制覇したことになる。

また、第11戦ベルギーGPでは、カルキビストが4位、3位と確実に両ヒートの上位入賞を果し、ランキングでも3位カルキビスト、4位プロマンズと上位に連ねられている。



国際B級250ccのタイトルを目前にして元氣一杯の庄司寛とYZ250

一方、国際B級では250ccクラスのランキングを独走する、庄司寛（レーシングメイツ・オブ仙台・YZ250）が、第7戦でも大逆転の優勝。最終戦を待たずにタイトルを決定しそうな勢いである。

一方、国際B級では250ccクラスのランキングを独走する、庄司寛（レーシングメイツ・オブ仙台・YZ250）が、第7戦でも大逆転の優勝。最終戦を待たずにタイトルを決定しそうな勢いである。

全10戦の80全日本モトクロスは、7月19日、20日の秋田大会で第7戦を終了した。男鹿半島・男鹿山牧場の特設コースに245台のエントリーを集めて行なわれたこの大会には、125ccと250ccの両クラスでラ

東福寺 ランキング2位へ

125cc
クラス

全日本選手権モトクロスシリーズ

好調、14戦までに316点をマーク、2位に27点の差をつけてタイトルにばく進している。一方、この第13戦、14戦では同じくヤマハYZ250を駆るB・グラバーが大活躍。両レースともスタート・トゥ・フィニッシュで優勝した。



アメリカ最大の人気シリーズ・スーパークロスでチャンピオンへ快調に駒を進める③マイク・ベル

つまり、国際A級125ccクラスでは、この大会カゼを押して出場の東福寺保雄が第1ヒート優勝、第2ヒート2位の総合2位で、ランキングでも3位に後退した藤秀信に代わって15点対12点と3点差の2位進出を果たしたものだ。

一方、250ccクラスは、杉尾良文（ホンダ）の総合優勝に終わったが、こちらは藤秀信が123点をマークして依然として首位を保っている。

シリーズは9月7日の第8戦九州大会、9月20、21日の第9戦関西大会そして10月11、12日の最終戦日本グランプリ大会とつづくが、

10月のスポーツランドSUGOでビッグレースふたつ!

10/19世界GP500c.c.クラスの再現

第8回 TBC ビーゴロードレース

●おもな出場予定ライダー：K・ロバーツ、B・シーン、J・チエコット、F・スペンサー、M・フルッチ、浅見真男、高井幾次郎、金谷秀夫……他内外トップライダー総勢20名以上

- 10月18日・予選、19日決勝 ●雨天決行
- 開場8時、スタート10時
- 入場券：大人2000円（前売）2500円（当日）
中・高校生1600円（前売）2000円（当日）

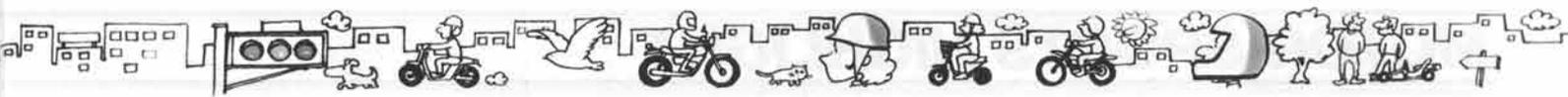


10/12日本で初のアジア選手選大会

'80 ジャパンカートグランプリ



- 参加予定選手：海外12カ国30名、国内100名、レディス20名
- 10月9日～11日・フリー走行、タイムトライアル、予選ヒート、12日決勝
- 入場券：大人1000円（決勝前売）1500円（決勝当日）
中・高校生800円、小・幼稚園児200円（いずれも当日券）



RZ250、RX50スペシャル、ポッケ&フォーゲル

話題のニューマシン発表試乗会



ご覧になりましたか? いま全国の書店店頭にならぶ2輪専門誌10月号の話題を独占する「RZ250」。この話題のスーパースポーツをはじめ「RX50スペシャル」「ポッケ&フォーゲル」全4機種の特設誌発表試乗会が8月4日、5日の両日、浜松グランドホテルと袋井ヤマハコースで行なわれました。

「ヤマハ2サイクル技術の結晶「RZ250」のすべてを確かめていただきたい」と開発に携わった第3技術部のスタッフがずらり顔をそろえる中で行なわれた説明会では、革新技術のかずかずに盛んな質疑応答が続き、また、袋井コースに会場を移してのテストランでは、その強烈な走りに驚異の声がとび交っていたものです。

Yamaha Topics

ヤマハニュースは販売店みなさまの情報誌です。



お店のみなさまがつくる、みなさまのための「ヤマハニュース」をめざして、積極的な訪上参加をお待ちしております。

ご商売にまつわるさまざまな話題、明るいニュースなど、どんなものでも結構です。お電話で、お手紙でどうぞお気軽にお寄せ下さい。取材要請、ご質問、ご相談もどうぞ。宛先は——

〒438 静岡県磐田市新貝
2500 ヤマハ発動機株式会社
宣伝部宣伝課
「ヤマハニュース」係
☎05383(2)1111 内線356

創立70周年を迎えた (株)後藤モーターズ

〔仙台支店〕 山形県のヤマハ特約店・(株)後藤モーターズは、今年創業70周年を迎えましたが、これを記念して、7月8日には山形県上市市に200余店の傘下販売店さまを招き盛大な記念式典がひらかれました。

席上、後藤善之助社長は「販売店みなさまとの共存共栄をはかり、かつ交通安全教育の充実を通じて一層の社会奉仕を推進したい」とあいさつ。また、取引販売店さまを代表して「やまか輪店(加地専務)さんから「経営、技術、安全教育など今までの以上の販売店教育によって、創業100年へ大きく前進しよう」と力づよい祝辞。そして、ヤマハ発動機小宮功・取締役営業本部長が「第2期黄金時代を迎えた2輪車業界、今こ

熱球列島」と化した8月の日本、この頂点はなんといっても夏の甲子園にくりひろげられた高校球児のひたむきなプレイです。

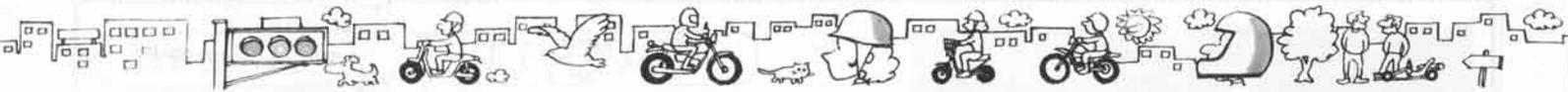
ご承知のようにヤマハでは、この高校野球をテーマに、全国販売会社25チームのトーナメント戦セールズコンテスト「ヤマハ販売拠点選手権大会」を販売店みなさまのご協力のもとに開催してまいりました。

5月からスタートした、第1回夏季大会もいよいよ大詰め、9月には春の優勝チーム「ヤマハ熊本」につづく、夏の大会の覇者も決定します。

「わが営業所、販売各社の勝利のために」という販売店さまのご声援も多数寄せられ、また「勝利」のために実施されたいろいろな作戦(S.P活動)が、お店とヤマハの大きなコミュニケーションをつくり出したものです。ご声援ありがとうございました。



ご声援ありがとうございました
熱戦大詰め!
第1回夏期ヤマハ
全国販売拠点選手権大会



ヤマハ25年の歩みを集約

●ヤマハ・モーターサイクルなんでも事典● 「われらがヤマハ モーターサイクル」

講談社編

ヤマハ25年の歩みを1冊にまとめた単行本「われらがヤマハ」が、講談社から発刊され話題を呼んでいます。

●ヤマハ・モーターサイクル物語 ●栄光のレース物語 ●ヤマハモーターサイクルなんでも百科 ●ヤマハモーターサイクルのメカニズム ●思い出のヤマハ・モーターサイクル ●ヤマハ=アクセサリ……の6部から構成された新書判、280ページのこの本は、単に史実や記録、技術の紹介にとどまらず、もりだくさんのエピソードやトピックスに

よって、ヤマハスピリットを浮き彫りにした興味深い読み物となっています。

マニアのお客さまには、ぜひ一読いただきたい一冊。また、お店の販売促進活動にも多彩にご活用いただける1冊といえそうです。

▶お問合わせ、申込みは下記へどうぞ

東京都文京区音羽2-12-21
講談社 スポーツ出版部
「われらがヤマハ・モーターサイクル」係



地域社会に定着した ヤマハの安全運転活動

〔ヤマハ兵庫(株)・但馬営業所〕兵庫県養父郡八鹿町では、地元八鹿警察署が主催して7月12日、原付乗り方教室を開催しました。

そめりカー、特約店、販売店が、太いきづなで拡大発展の基盤を……とあいさつし、大きなもりあがりを見

せた70周年式典をしめくくったものです。

そして、この教室の指導を、と警察から要請を受けたのが、ヤマハフレンド店の7名の指導員資格を持つ社長さん、これにヤマハの指導員3名が加わって計10名。約20名の参加者のため2人の受講生に指導員1名という綿密な指導が行なわれて好評



業界通信 ヤマハシヤナール ヤマハ発動機スペイン・メキシコでオートバイの合併生産に乗り出す

ヤマハ発動機(株)は、オートバイの2大市場である北米と欧州での現地生産に乗り出す。来年中にもスペインとメキシコの両国でそれぞれ現地資本と合併会社を設立し、二輪車の現地生産体制を固める。

日本からの輸出急増が欧米で問題になっている四輪車と比べ、二輪車の場合はすでに日本メーカーが世界的に市場を制しており、この意味では「摩擦」は表面化していない。しかし中小メーカーの多いスペインが完成車の輸入制限を打ち出すなど、欧州中心に「自動車摩擦」が二輪車に飛び火する可能性も強まっている。(中略) スペインには二輪車メーカーが2社近くあるが、いずれも中小メーカーで多くは経営不振に陥っている。

このうちヤマハの相手先となるのは、バルセロナに本社を持つモトトランス社とサングラス社……。

一方、メキシコでは現地資本のアルファ社との間でヤマハは6月下旬に合併契約を結んでおり、現在、合併会社設立認可を政府に申請中。

〔日本経済新聞 7月30日付〕

ファミリーバイクが普及しはじめて4年、原付免保有者は400万人

原付免許(50cc以下)で女性にも手軽に乗れるファミリーバイクが、普及し始めて以来4年。この間、機種も増え、低燃費で省エネ時代にも合っていることから最近では、男性ユーザーも多くなり、原付免許保有者数は、昨年初めて400万人を超えた。……これだけ普及した大きな理

を集めました。二八鹿町では、毎月2回実施されている「ヤマハ原付乗り方教室」が、街の人びとの間にも完全に定着しているために、今回のような警察署主催の安全活動にも指導要請がもたらされるもので、3月にはヤマハ指導員3名が警察署の表彰を受けるほど。ヤマハの安全活動に大きな評価が寄せられています。

由は、手軽に乗れて維持費も安いこと。業界団体の日本自動車工業会が行ったユーザー調査によると、利用者の職業は、サービス・販売・技能職25.4%に次いで主婦が17.5%と第2位を占めている。利用のしかたは、通勤39%、用足しや買い物38%で「行動範囲が広がり、自由時間が増えた」「夜道を歩く危険がなくなった」などの女性の声も多い。

また、経費をみると、自動車税、保険料、燃料代などを合わせた月間維持費について、利用者の8割が「2千円未満」と答えた。〔毎日新聞 7月17日付〕

盗難車が犯罪に 車の盗難に対して持ち主にも罰則規定を設ける検討

暴走族や金融機関強盗などの凶悪犯罪に盗難車が使われることが多い。ため車の盗難対策が急務となっている中で、「車の所有者の管理責任をもっと厳しく問うべきだ」とする声が警察の内外で高まってきた。

盗難にあった車の所有者はあくまで被害者で、現行法では盗まれた手落ちを罰する規定はない。しかし、民事訴訟では盗まれた側の責任を問う判例が相次いでおり、欧米各国でも罰則規定が定着しているという。このため、警察庁は「犯罪の陰に盗難車あり」といった現状では罰則規定の導入もやむを得ない。(交通企画課)として法改正の準備を始めた。〔日本経済新聞 7月14日付〕



パン食と

取りたての野菜

高橋五十鈴さま

北海道札幌市

五十鈴輪業(高橋作雄社長)

いつの頃からか朝はパン食にしているんですけど、これが調子をよくしているみたい。それと取りたての新鮮な野菜カナ。自宅裏の150坪程の自家菜園でアスパラ、トマト、キュウリ、エダマメ、トウモロコシを栽培しているの、ほとんど間に合っちゃうんです。

規律正しい

生活を厳守

佐藤敏子さま

宮城県仙台市

サハルホント販売(佐藤福寿社長)

やっぱり規律正しい生活をするのが第一ですネ。とくに気をつけているのが食事の時間。不規則になりがちなのに、これだけは私のペースでやらせてもらっています。何んでも食べて睡眠を多くとる。健康家族の見本みたいなものだから、元気いっぱいです。

なんといつでも

睡眠第一

井上喜代美さま

山梨県甲府市

イノウエモーターズ(井上修社長)

お陰様でみな健康、丈夫で長持ちといった感じで毎日頑張っています。ですから特別なことはこれといってしていませんが、睡眠だけは充分とるように心掛けています。夜遊びをせず、できるだけ早目にやすむこと。単純ですが、これがうちの健康維持法です。

健康は

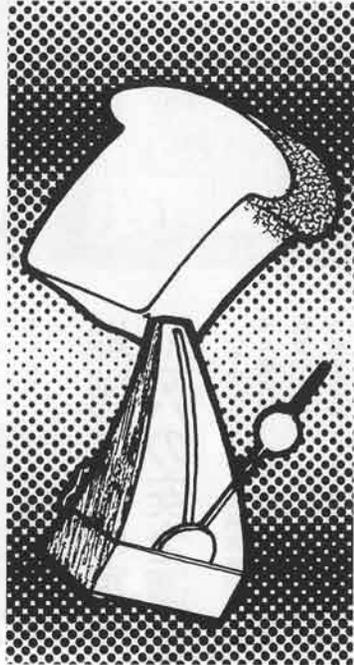
気持ちの持ちよう

山田まさ子さま

東京都足立区

山田オート販売(山田勤社長)

健康って気持ちの持ちよう大いに関係があるのではないのでしょうか。毎日、「今日もガンパロー」って元気に仕事をスタートさせ、すべてにハキハキと行動する。とくに大きな声を出してあちこち走り回っていると、自然と身体もついていっちゃうみたいですヨ。



うちの店の健康管理

いまや世をあげてヨガのブーム。それはともかく「健康管理」についての関心は、このところとみに急上昇しています。そこで、今回のテーマが「これがうちの店の健康管理」。食事対策から仕事のローテーション管理まで、それこそヤマハ奥さまのアイデアは、ここでも見事に生かされていたのです。

半年前から続けている

ヨガ体操

仲 洋子さま

和歌山県田辺市

サイフルオートなか(仲普彦社長)

どうしても仕事で無理な姿勢をとりますので。ですから半年前から主人とヨガ体操をやっているんです。本を見ながらの自己流ですが、結構調子はいいみたい。お風呂に入って寝る前にネ。私はちょっと細くしたい部分があるので主人より適当ですけどネッ。

自慢は海産物入り

野菜サラダ

尾上初枝さま

兵庫県豊岡市

山隆オートセンター(尾上昌社長)

時間は規則正しく、食事は栄養バランスに気をつけています。とはいえ、主人はビールと刺身があればゴキゲンなのですが、野菜はとるよう気をつけています。自慢はなんといっても海産物入り野菜サラダ。セロリやレタスにワカメやイカなど海の幸がタップリ。

バランス良い

食事と着替え

多田愛子さま

香川県坂出市

多田輪業商会(多田義隆社長)

とりたてて神経質に気にしているわけではないかもしれませんが、しいていえばバランスの良い食事の工夫と、小まめな着替えかしら。とくに主人は外に出ることが多いので、汗をかいたらすぐ新しい衣服に着替えて、身体の調子を崩さないよう注意してもらっています。

よく食べ、よく働き、

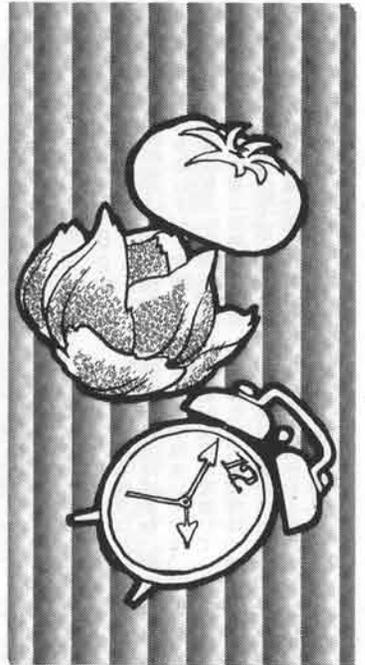
よく寝る。

増田康子さま

福岡県北九州市

増田サイクル(増田司社長)

うちの健康管理の3原則は、よく食べ、よく働き、よく寝ること。これを守っている限りは夏バテも皆無です。もともと料理を工夫して作るのが好きなので、真夏の暑い日にピッタリのオリジナル冷麺などは人気の。新鮮な野菜やワカメなどふんだんに使っています。



'80→'81
ホットに11種。
ヤマハウインターウェア
新登場。



鮮やかなカラー、大胆なデザインで、ヤマハウインターウェアの新登場です。小粋にホットに、お客さまの冬のバイクライフを一新する11種。ライディング時のしなやかな身のこなしを考慮したスリムなシルエットが特徴です。秋から冬のご商売の強力な新商品、どうぞシーズンに先がけた品ぞろえをおすすめください。

※写真説明中の価格はすべて標準小売価格です。



フレンチアメリカンジャケット

●9500円●表裏ナイロン・中綿ポリエステル●S、M、L、LL●ベアルックにも最適なナイロンジャケット



トリコロールベスト

●6000円●表裏ナイロン・中綿ポリエステル●S、M、L、LL●買物やタウン着にもピッタリのベスト



キルティングタッチジャケット

●13000円●表裏ポリエステル・中綿ポリエステル●S、M、L、LL●シルクタッチの新素材を使用した高級ジャケット



ファンシージャケット

●9000円●表裏ナイロン・中綿ポリエステル●S、M、L、LL●軽快なレディス・ジャケット



スペースライダージャケット

●8500円●ロDESTA(ポリウレタン引きナイロントリコット)●M、L、LL●スポーティーなオールシーズンジャンパー



アルペンルック

●18000円●表ロDESTA・中綿ポリエステル・裏ナイロン●S、M、L●ロDESTA素材の高級防寒ジャンパー、レッドとホワイトの2カラー



ジャーマンジャケット

●8500円●表裏ナイロン・中綿ポリエステル●M、L、LL●カラーコントラストも大胆なキルティングジャンパー



ヘビーライティングジャケット

●13000円●表ロDESTA・中綿ポリエステル・裏ナイロン●M、L、LL●皮の風格と伸縮性にすぐれた素材ロDESTAのジャケット



ライダーベスト

●8000円●表ロDESTA・中綿ポリエステル・裏ナイロン●M、L、LL●ロDESTA素材の高級ベスト



CY-81ジャケット

●8500円●表裏ナイロン・中綿ポリエステル●M、L、LL●ビジネスからレジャーまで汎用性の高い防寒ジャンパー

（広）告（活）動（二）紹（介）

ザ・エクストラ・2ストローク「RZ250」——これは話題のスーパースポーツ「RZ250」の2輪専門誌用広告です。「RZ250」「XJ400」「XJ650」スペシャルの3部構成で、80年代のビッグバイク市場をリードするヤマハの革新技術(REVOLUTION)を紹介してまいります。どうぞご期待ください。

走りの科学が、あらゆるスーパースポーツの概念を超えるマシンを生んだ。

REVOLUTION:1

ヤマハが誕生して25年。高品質・高性能のモーターサイクルづくりに専念してきたこの歴史のなかで、ヤマハはモータースポーツに率先して参加し、常に主役の立場で極限の記録に挑戦してきました。この姿勢は今も変わることなく、レースといえはヤマハとい

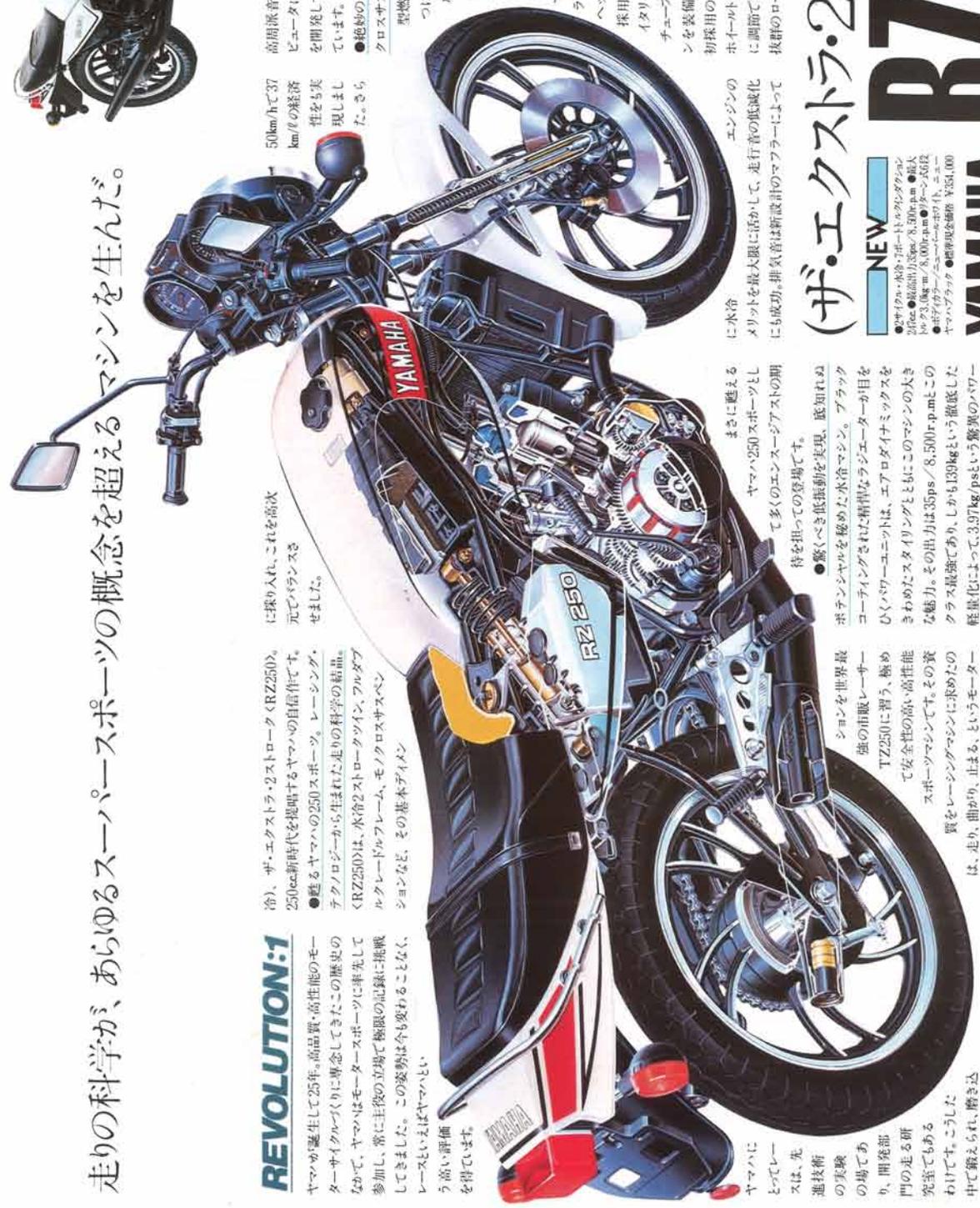
（冷）、ザ・エクストラ・2ストローク「RZ250」、250cc新時代を掲げるヤマハの自信作です。
●走るヤマハの250スポーツ。レーシング・テクノロジーから生まれた走りの科学の結晶。「RZ250」は、水冷2ストロークツイン、フルダブルクレードルフレーム、モノクロササペンションなど、その基本デザイン

に採り入れ、これを高次元でバランスさせました。

50km/hで37km/lの経済性を実現しました。さら

高周波音を大幅にカットしました。またコンピュータに基づく振動吸収式エンジンマウントを開発して、回転全域にわたって振動をおさえ

●絶妙なライディングポジション。熟成のモノクロササペンション。大容量16.5ℓを誇る大型燃料タンクはニーダリップに逆アールを



さらに冷エンジンのメリットを最大限に活かして、走行音の低減化にも成功。排気音は新設計のマフラーによって

に水冷エンジンのメリットを最大限に活かして、走行音の低減化にも成功。排気音は新設計のマフラーによって

●驚くべき低振動を実現、底知れぬポテンシャルを秘めた水冷マシン。アラックコーティングされた精悍なラジエーターが目

●驚くべき低振動を実現、底知れぬポテンシャルを秘めた水冷マシン。アラックコーティングされた精悍なラジエーターが目

●驚くべき低振動を実現、底知れぬポテンシャルを秘めた水冷マシン。アラックコーティングされた精悍なラジエーターが目

(ザ・エクストラ・2ストローク)
NEW RZ250
YAMAHA

- 2100cc・4バルブ・7000rpm・トルク・8.300rpm
- 2100cc・最高出力35ps/8,300rpm
- 最大トルク3.0kgm/6,000rpm
- 5速・クラッチ・ニュー・カム・シャフト・カム・カム・カム
- ヤマハ・グリップ・コントロール・システム

●標準価格 ¥354,000